

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

## 事業名

## 学びのステップアップ事業

## 事業の経過・背景・課題

令和元年度から3年間、小学校3年生への学力調査を実施し、授業改善を行った結果、学力の向上が見られた。令和5年度からは経年で学力の伸びを見るとともに、定着の弱い学習内容について、児童や保護者と確認し、調査結果と連携した教材に取り組むことで、個別最適な学びを実現する。

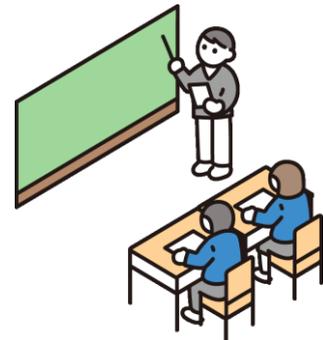
## 取組内容

交付実績額： 1,015 千円

- ・市内小学校2・3年生の全児童を対象に市独自の学力調査「宇治市統一学力調査（学びのステップアップ）」（国語・算数）を実施
- ・言語能力や認識力が高まる低学年に実施することで、早期に学習でのつまずきを確認し、授業改善を行うなど、学力向上につなげる
- ・調査結果をA Iドリルと連携して活用することで、個別指導や個に応じた課題に取り組むことができる

## 【実施スケジュール】

- 令和5年11月9日（木）：教職員向け事前説明会において実施目的・内容等を確認  
11月20日（月）～27日（月）：調査実施
- 令和6年1月19日（金）：各校へ結果データ返却  
1月30日（火）：児童・保護者へ個人票返却  
伸びと弱点の確認、新学年に向けた目標設定
- 2月16日（金）：教職員向け事後説明会において、結果の見方や活用方法を確認し、授業改善等に活用。  
※個々の結果をA Iドリルと連携し、学校・家庭学習に取り組む



## 事業の成果・今後の展望等

言語能力や認識力が高まる低学年に学習でのつまずきなどの課題を確認し、授業改善を行うといった、有効な手立てを早い段階から継続的に講じることができた。

また、日常の学習記録データと併せて分析し、調査結果をA Iドリルと連携して活用することで、積み残しを解消するための個別指導や授業改善による確かな学力をはぐくむことが可能となる。

## 問い合わせ先

宇治市教育委員会学校教育課（0774-21-1879）

# 宇治市統一学力調査（学びのステップアップ）

宇治市教育委員会

児童一人ひとりの学力状況等を把握・分析し、個別最適な学びの実現を図るための調査を実施します。

宇治市では、今年度から小学2、3年生を対象に学力調査を行います。

この調査は、現学年の10月末までの学習内容の調査を行うことで、定着の弱い学習内容について、児童や保護者のみなさんと学校が確認するために行います。調査結果をもとに、児童一人ひとりの弱点を補強する復習プリントやドリル形式の問題に取り組み、個別最適な学びの実現により主体的に学ぶ力を養うとともに次年度に向けてステップアップの目標を持たせることを目的としています。

この調査により、子どもたちの得意・苦手分野を把握し、苦手克服につながる学習に取り組み、次の学年に向けたさらなる意欲の向上につながることを期待しています。

## 個人票の返却

内容（単元）ごとの結果がわかり、自分の得意・苦手が把握できます。



教科ごとにアドバイスが書かれており、復習に役立てることができます。

※裏面には○×のついた答案のスクリーン画像が掲載されています。自分の回答が確認でき、振り返りをサポートします。

## ドリルパーク とのデータ連携

学力調査の診断結果をもとに、一人ひとりの学習到達度に応じた苦手克服カリキュラムを自動で生成。苦手な問題に取り組んだ後は、確認テストを提示し、学習内容が定着したか再度診断することで、やり残しを防ぎます。

### 個別カリキュラム自動生成

理解度に応じた個別ドリルの提示

個別  
カリキュラム  
自動生成

- ・学習範囲の省力化、効率化
- ・習熟度別カリキュラム選定  
(正答率と比較して、最適な問題を出題)

### 再診断のための確認テスト

個別カリキュラムの確認テスト

確認テスト  
自動生成

- ・個別カリキュラムを元にしたテストを実施。間違えた場合は、更にふり返しを行う。
- ・テスト完了後、通常のドリルパークへ誘導し、継続学習を支援



## 調査の内容

- ①対象学年 小学2、3年生
- ②実施教科 国語、算数
- ③出題範囲 当該学年の10月までに学習した内容  
(例：小学3年生の問題は、小学3年生の10月までに学習した内容です。)